

KC研修生の
(関西国際センター)

Nipponレポート

第6回
公共図書館の
サービス

このコーナーでは、関西国際センターの日本語研修に参加している
研修生が研修を通して発見した **Nippon** についてレポートします。



「司書日本語研修」に参加している仲さんは、中国の公共図書館で司書(librarian)を
しています。日本の公共図書館のサービスについて知りたかったので、大阪市立中
央図書館に行ってみました。

◀移動図書館の前で大阪市立中央図書館の小林さんといっしょに

中国の図書館と同じようなサービスもありました。



【レファレンス】

資料を探すのを手伝ったり、役に
立つ本を紹介したりします。



【移動図書館】

図書館から離れた地域に移動図書館が行きます。
主婦やお年寄りがたくさん来るそうです。



中国の図書館にはないサービスもありました。

「おはなし会」では何をしますか？

図書館にある「おはなしの部屋」で
子ども達に本を読んであげます。



中国と日本の図書館では、子どもの
ためのサービスがちがいます。小さ
い時から本を読んであげることはと
てもいいことだと思います。



「ブックスタート」って何ですか？

赤ちゃんとお母さんの集まる場所
に行って、本の大切さを教えます。



日本の図書館は本を貸すだけでなく、いろいろなサービスをしていました。子
どもからお年寄りまで誰でも利用できるように工夫をしています。中国に帰っ
たらみんなに教えたいと思います。

▽日本の図書館についてもっと知りたい人は下のURLを見てください。

大阪市立図書館 (日本語/英語/中国語/韓国語) <http://www.oml.city.osaka.jp>

国立国会図書館 (日本語/英語) <http://www.ndl.go.jp/>

遠賀町立図書館 (日本語のみ) <http://www.library.onga.fukuoka.jp> *「図書館の仕事」をクリック

このコーナーの担当者：和泉元千春、品川直美 (関西国際センター日本語教育専門員)、リポーター：仲維華 (中国)